

## 6-4 一括で商品のフェイス数を変更する

## 概要

棚割モデルに陳列されている商品のフェイス数をまとめて変更することができます。

複数の棚割モデルを対象にフェイス数を変更したい商品を選択し、まとめて設定できるため棚割編集時間を短縮できます。

## 起動方法



## 操作方法

フェイス一括編集


棚割モデル情報  
棚割モデル情報を選択します。 棚割モデル選択(H)

フェイス一括編集

	フェイス数変更商品	フェイス数
1	4514603345117	2
2	4901085044414	3
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

フェイス数変更商品(4514603345117)

アサヒ ワンダ 極 微糖 缶370g



幅 65.00  
高さ 164.00  
奥行 65.00

多ヶ所陳列の場合は陳列ごとに指定フェイス数になります

ファイル読込(B)    ファイル保存(W)    貼り付け(V)    クリア(C)     全体表示

棚割モデル情報の保存先  
別モデル情報で新規保存(内部)する    棚割変更日 2024/05/31    自動算出

実行(S)    終了(E)

現状の棚割モデルを選択して、フェイス数変更後の未来棚割を作成する。作成済の未来棚割を選択して、フェイス数変更を反映する。あるいは作成している未来棚割よりも更に未来の棚割を作成することができます。

## 商品を指定して、フェイス数を変更する

1. [棚割操作] - [陳列一括編集] - [フェイス一括編集]をクリックします。
2. [棚割モデル選択] より対象となる棚割モデルを選択します。
3. フェイス数変更商品のセルに商品の共通商品コードを入力して、フェイス数のセルに変更したいフェイス数を入力します。  
(Excel 等に入力されている JAN コードをコピーして、[貼り付け] より JAN コードを貼り付けることも可能です)
4. 棚割モデル情報の保存先を選択します。※選択した棚割モデルの種類、世代によって保存先の選択は異なります。

選択モデル情報に上書きする

フェイス数変更後の陳列内容で上書き保存します

別モデル情報で新規保存(内部)する

フェイス数変更後の陳列内容を別の棚割モデルとして保存します。  
(「棚割モデル選択」で選択している棚割モデルの陳列内容は変更されません)

- 別モデル情報で新規保存する際は、「棚割変更日」を設定します。
- 〔実行〕をクリックします。
- ログ情報の確認画面が表示され、〔はい〕をクリックするとフェイス変更の結果を確認できます。

### 未来棚割にもフェイス数の変更を反映させる

フェイス一括編集を実行する際に未来棚割が存在した場合には「選択棚割モデルよりも未来日付で陳列変更が存在します。未来の棚割モデルに今回の商品入換を行いますか?」という確認メッセージが表示されます。

確認メッセージで「はい」をクリックすると同一条件の変更処理を未来棚割に反映させることが可能です。

### 商品を指定して、フェイス数を変更する (Excel を使用)

- 〔棚割モデル選択〕より対象となる棚割モデルを選択します。
- 〔ファイル保存〕を選択して Excel ファイルを出力します。
- 出力した Excel ファイルを開き、A 列にフェイス数を変更をしたい商品の共通商品コードを入力して、B 列にフェイス数を入力してから上書き保存します。
- 〔ファイル読込〕を選択して編集したファイルを選択します。
- 棚割モデル情報の保存先を選択します。
- 〔実行〕をクリックします。
- ログ情報の確認画面が表示され、〔はい〕をクリックするとフェイス変更の結果を確認できます。

### POWERSCREEN への連携日程を確認する

棚割変更日 20210301  自動算出 

〔?〕ボタンを選択すると POWERSCREEN 連携日程を確認できます。

POWERSCREEN 連携日程の画面では、本日日付を起点(出力日付)とした場合の出力対象期間が表示されます。

出力対象期間に棚割変更日が含まれる場合には POWERSCREEN へ出力されるため、

保存する棚割がいつ POWERSCREEN に公開されるかを確認する際にご活用ください。

(出力対象期間の設定は [POWERSCREEN] タブー [自動出力設定] にて設定されています)



## ■ 特記事項

- 店POWERの商品情報に登録されていない商品はフェイス数の変更はできません。
- フェイス数で入力できる最大値は「9」までです。それ以上の数値を指定した場合は、実行時にエラーが出ます。
- フェイス数を設定した後に、棚割モデル上で設定した圧縮率を超える場合は、棚割モデルを開く際にこぼれます。
- 入力した商品が多ヶ所に陳列されている場合は、それぞれの場所で指定したフェイス数に変更されます。
- 棚割世代が「現状棚割」や「入力日の直近過去」で実施モデルを選択した場合は、棚割モデル情報の保存先は「別モデル情報で新規保存(内部)する」しか選択できません。
- 棚割世代が「未来棚割」の実施モデルを選択した場合は、棚割モデル情報の保存先は「選択モデル情報に上書き保存する」

しか選択できません。

- 棚割モデル選択で [店舗] タブより棚割モデルを選択した場合は、必ず棚割世代が「未来棚割」でなければ選択できません。
- 使用環境により、パターン棚割を優先するか、店舗棚割を保持して入換をするかが異なります。

パターン棚割	棚割モデル割付されている実施モデルを指します。 (「棚割モデル割付」とは実施モデルを店舗に割り付ける設定です)
店舗棚割	店舗独自に陳列内容を変更、保存した棚割を指します。

- 棚割変更日の[?]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。
- 環境設定で発売中止もしくは終売商品の陳列をできないように制限することができます。  
制限している場合、それらの商品を挿入して実施モデルで保存しようとするとエラーが表示されます。